

令和4年度 第1回熊本市介護人材確保に関する懇談会

【会議次第】

- 1 開 会
- 2 挨拶
- 3 懇談会
 - (1) 介護人材確保に関する現状ほか
 - (2) その他
- 4 閉 会

【意見要旨】

- ・人材が不足していることは事実であるが、どこで何の職種がどれくらい足りないか実態を把握することが必要ではないか。
- ・多様な働き方について。パートだけでなく、夜勤しかしない人、早朝だけの人、調理、送迎、清掃等短時間でも働ける働き方も重要となっている。
- ・介護職員の高齢化も進んでいる。
- ・外国人介護職については、コロナの影響によって増えていない。外国人に対する制度設計が大切。
- ・介護人材実態調査は、基礎自治体が数値をちゃんと持つておくことが大切。その数値をもとに9期に向けてしっかりと計画をすべき。
- ・働きたい高齢者が多くなっている。生活の足しになる働ける場を与えることが大事。介護助手、介護アシスタント、送迎等様々な職種として高齢者の活躍の場ができると思う。
- ・介護ロボット・ICTについては一つの業務効率化のツールとして活用する。
- ・人員基準について、兼務ができるように緩和できないだろうか。
- ・地域の自治会も高齢者が増えており、住民主体のサービスを活用し、元気な高齢者を増やすことが大切。ヘルパーさんのサービスはとても苦戦していると聞いているため、介護予防を行うことで、人材対策にもつながっていると思う。
- ・ご家族の介護を経験した方やご自身が病気等で介護を受けた方なども介護業界に興味がある方がいる。そういった方は介護の仕事をよく見ているので、参入しやすいと思う。